

# リハビリ通信

## 研修会の開催報告③

### ～「最近知見からの提案！外来、入所における評価と治療」～

11月18日(火)、福島県立医科大学の理学療法士 楠本泰士先生をお招きして、「最新知見からの提案！外来、入所における評価と治療」というテーマで研修会を開催しました。



研修会は前後半の2部構成で行われ、全体で60名程度の参加者がありました。リハビリ科スタッフ以外にも、医師・看護師・生活療育支援科職員などセンター内さまざまな職種の参加がありました。

講演の中では、既存の様々な評価尺度を用いて、定量的に評価していくことの重要性を何度もご説明いただきました。

先生自身の臨床経験に裏付けされた研究内容のお話も聞くことができ、大変勉強になりました。その他、股関節XP画像の見方や足部形状の評価についてのご説明などもありました。

2時間程度の講義でしたが、多角的な視点で捉えることの重要性を参加者全員が改めて学ぶことができたのではないかと思います。今回、先生からご紹介いただいた内容を活かして、より一段と利用者への支援向上に向けて、科全体で取り組んでいきます。（リハビリテーション科 理学療法士 吉村）

#### 【アンケート結果】※抜粋

- ・新しい知見に触れることができました。
- ・知っているが、使ったことがない評価スケールなど、お話が聞けてよかった。使いやすいものからやってみたいと思った。
- ・多岐に渡る評価方法を提示いただき、大変勉強になりました。センターでも取り入れられるものを検討しながら、利用者サービス向上に活かしていきたいと思います。

#### 研修の満足度（48名より）

